



吉川小だより 7月号



京都府亀岡市立吉川小学校

令和5年6月30日発行

〒621-0014 亀岡市吉川町穴川平田17番地 TEL 0771-22-1210

E-Mail el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp



「マスク」はずして！

今年は記録的に早い梅雨入りとなり、大雨警報によって野外学習も延期になりました。予報では、少しは早く明けるようですが、突然猛暑を迎えるのもまた心配です。体調管理、十分、お気を付けてください。

さて、心配なことの一つは、やはり熱中症です。特にマスクをしたまま炎天下で活動したり、室内でも運動を続けたり、特に子どもは「楽しい」ことには夢中になるため、気がつけば病院へ…というケースが大変増えています。新しいコロナの株も報じられ、なかなか選択が難しいですが、3年間のマスク生活を振り返り、いろいろな分析がされています。子どもへの影響としては子ども同士のトラブル、不登校児童、構音障害の割合が増加していることがあげられています。マスクだけが原因ではないでしょうが、確かに「目」だけでしか表情がわからず相手の気持ちを理解することが難しい。声あまり通らず話すことを自然と控えてしまう。相手の声ははっきりと聞き取れないこともそれらの原因の一つと考えられています。コミュニケーションをとろうとする意欲の低下や相手の表情から自然と気持ちを読み取る感覚が鈍っていることも指摘されています。さらに外出できずゲームやYoutube視聴、いわゆる“スクリーンタイム”の増加によって、著しい体力の低下が見られると、体力テストの結果からも大変心配されている状況にあります。



水泳学習に歓声をあげる児童

いずれにしても、夏を迎えるにあたり、熱中症対策も含めて学校では給食当番や体調不良など必要な場合を除いては、基本的にマスクをはずして生活するようにしますのでご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。

コミュニティスクール

第1回運営協議会が開かれました。これまでも自治会や営農組合の皆さんをはじめ多くの地域の方々に学校を支援していただいておりますが、組織や体制を整理・再編しながら、もう一步、学校に足を踏み込んでもらい、地域と学校がいっしょになって吉川の子どもの育てようという取組です。

このような方針や考え方は文科省が20年近く前に法律で示し6年前に改正を加えています。それを受け亀岡市教育委員会も教育委員会規則として掲げ、今年から全小学校で実施することになりました。



楠謙一さんに農作業を学ぶ3年生

第1回の会議では、協議会の目的や具体的な取組、規約（設置要項）について、児童の現状を確認しながら、意見を出し合いました。これまでの会議のように学校がすべて進めるというスタイルから、みんなでいっしょに考え合い協議することを大切にしていくことを確認しました。委員の大きな役割としては、学校の目標や方針を踏まえて児童がどのように育っているか、年間通じて様々な場面で子どもを見ながら、次年度の教育方針や重点課題につなげていくことです。今後も随時、協議会についてお知らせしていきたいと思っております。



大西弘恭さんに植え方を教わる5年生

校長 藤田 哲也

お世話になる委員の皆様

大西正夫自治会長	竹上淳子自治会副会長
長尾敬行自治会副会長	櫻井達也PTA会長
藤原陽子主任児童委員	上島元樹青少協会長
藤村稔治交対協会長	西田 均防推協会長